

★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／市民環境部山直市民センターによる自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	市民相互の結びつきと自主的な学習活動を支援するため、学級講座等を運営する。	定期講座については、予定通り開催し、自主的な運営を目指すよう支援を行った。各学級・大学については、学習支援を行い、クラブ等の登録団体については、3年ぶりに公民館まつりを開催するなど活動およびクラブ間の交流を支援。	4：大いに近づいた	継続	1,124	6,413	7,537	各学級・大学および登録団体の参加者の減少。	市民にクラブ化等自主的な運営に結び付くような、魅力的な講座を開設する。また、公民館まつり等を活用し、各学級・大学および登録団体の参加者の増加を目指す。	
2	山直市民センター管理事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	山直市民センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	関係各課と連携し、老朽化に伴う施設の破損箇所を把握し、適宜、修繕を行うなど施設の維持管理に努めた。	4：大いに近づいた	継続	15,030	3,582	18,612	施設の老朽化。破損箇所の増加。	施設の破損箇所を把握するとともに、老朽化に伴う大規模な改修については、計画的な修繕を行うなど施設の維持管理に努める。	
3	山直市民センター管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	電子決裁等を利用し、効率的な業務を遂行した。	5：達成した	継続	-	9,739	9,739	多様な市民ニーズに対応することによる、多種多様な業務の増加。	電子化を利用し、効率的な業務を遂行する。	
4	サービスセンター事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を市民センターで実施する。	関係各課と連携し、各種手続きを適正に実施。	5：達成した	継続	-	13,851	13,851	市民の利便性向上を図るため、多種多様な業務の増加。	キャッシュレス決済等、関係各課と連携し、各種手続きの利便性の向上を図るとともに、適正な業務遂行を目指す。	